

2021 年度以降の大学入学者選抜について（第 2 報）

日本歯科大学では、「高大接続改革」の趣旨をふまえ、2021 年度入試（2020 年度実施）以降の入学者選抜において、「学力の 3 要素（知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）」をより多面的・総合的に評価するため、入試制度変更の検討をすすめているところです。現時点では、以下のような基本方針で変更することをお知らせいたします。

1. 入学者選抜区分の名称変更

各入学者選抜区分の名称を以下のように変更します。

変更前	変更後
一般入試	一般選抜
大学入試センター試験利用入試	一般選抜（大学入学共通テスト利用入学選抜）
推薦入試	学校推薦型選抜
AO 入試	総合型選抜

2. 学力の 3 要素の評価

すべての入学者選抜区分で学力の 3 要素を評価します。

日本歯科大学では、すでにすべての入学者選抜区分で学力の 3 要素の評価を行っていますが、現行の選考方法をベースとしつつ、この 3 要素をより多面的・総合的に評価できるよう、種々の改善を検討しています。

3. 大学入学共通テスト利用入学選抜

現行の大学入試センター試験に代わる「大学入学共通テスト」を利用します。なお、数学の記述式問題は評価対象とする方向で検討していますが、国語の記述式問題は評価対象としない方向で検討しています。

4. 英語外部資格・試験の活用

英語における 4 技能を適切に評価するため、英語外部資格・試験の活用について検討しておりましたが、受験機会の公平性等を考慮して、2021 年度入試では総合型選抜（現行の AO 入試）と学校推薦型選抜（現行の推薦入試）で出願要件として活用し、その他の入試区分においては活用しない方向で検討しています。

5. JAPAN e-Portfolio などの e-ポートフォリオについて

JAPAN e-Portfolio などの e-ポートフォリオは活用しません。